

様式 A-1
(FY2018)

平成 30年 12月 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 県立彦根東高等学校・松浦志保里
2. 講師氏名: Petya Gancheva Stoykova
3. 同行者氏名: 藤田健太郎
4. 実施日時: 平成 30年 12月 13日 (木) 16:20 ~ 17:50
5. 参加生徒: 1年生 38人、 2年生 50人、 年生 人 (合計 81人)
備考: SS(理数専門クラス)コースの生徒中心
6. 講義題目: Alternative methods for monitoring of organic pollution by genetically modified plants
7. 講義概要:

土壌粒子または堆積物と結合した持続性有機汚染物質(POPs)の広がりの防止。また、現在土壌や水中の POPs 汚染を検出するために研究所で使用されている常套手段に加え、トランスジェニック植物などの他の単純で高感度なシステムの開発。
8. 使用言語: 英語
9. 講義形式:
 - (1) 講義時間 60 分 質疑応答時間 30 分
 - (2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
質疑応答時間における同行者によるサポート、簡単な解説
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
発表者自作のアブストラクト、スライド資料、用語集の配布
10. その他特筆すべき事項:

非常にわかりやすいゆっくりとした英語で、途中に何回か質問をする時間をとってくださいました。研究内容の事だけでなく、研究活動や動機など、生徒全体の参考になる話もしてくださいました。